

玉東町役場

GYOKUTO TOWN HALL

新庁舎のご案内

2024.12

SINCE 1966

1950年（昭和25年）に建設された木葉中学校の校舎を
役場庁舎として利用し始めたのは1966年（昭和41年）のこと
長きに渡り町民に愛された旧庁舎は老朽化に伴い建て替えることとなりました
解体までの築年数は74年
熊本県内で最古の庁舎として令和6年5月2日の閉庁式をもってその幕を閉じました

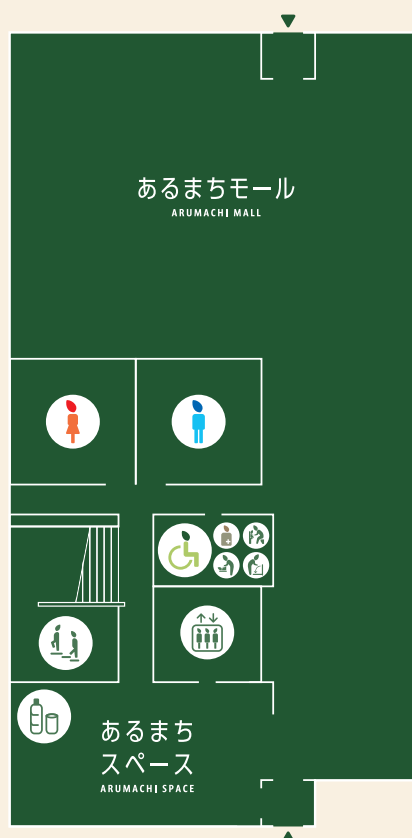


SINCE 2024

2024年（令和6年）5月7日に開庁した新庁舎
駐車場整備などの全工事を終えたのは同年12月
高い耐震性や環境性能を備え、
町民や職員の使いやすさに配慮した新庁舎に生まれ変わりました



施設のご案内

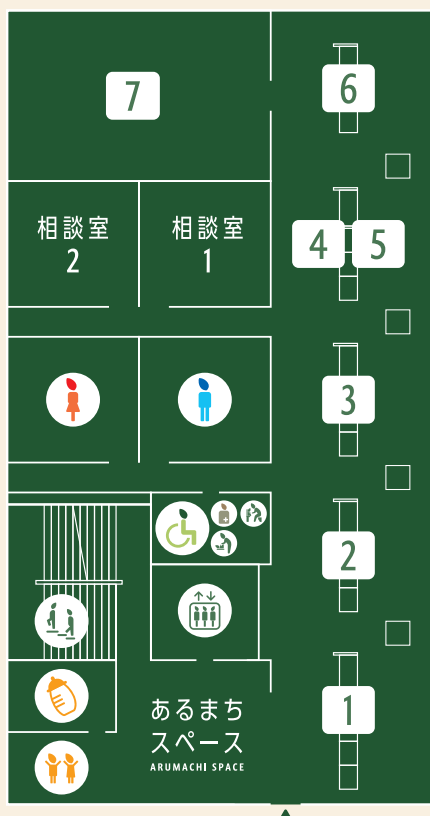


1F

あるまちモール (テナント)
あるまちスペース (エレベーターホール)



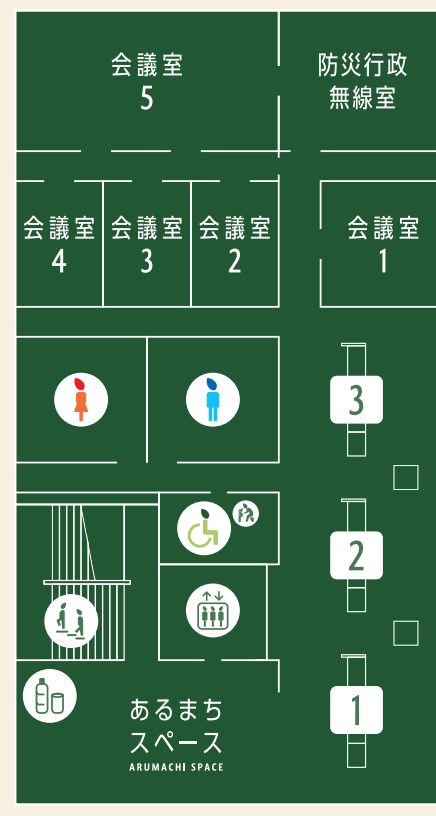
- 男性トイレ Men
- 女性トイレ Women
- バリアフリートイレ Accessible
- オストメイト Ostomate
- キッズスペース Kids Space
- 授乳室 Nursing Room
- ベビーシート Baby Seat
- ベビーチェア Baby Chair
- 着替え台 Changing Board
- 自動販売機 Vending Machine
- エレベーター Elevator
- 階段 Stairs



2F

- ⑦ 会計室 税金・各種料金の支払受付
- ⑥ 税務課 町税、国民健康保険税
介護保険料
後期高齢者医療保険料
地籍図面管理
- ⑤ 産業振興課 農業振興、森づくり
鳥獣対策、商工業、観光
雇用対策
- ④ 農業委員会 農業委員会、農地法許可関係
農地パトロール
- ③ 町民生活課 戸籍、住民票、印鑑登録
国民年金、パスポート
マイナンバーカード、人権
ごみ、環境衛生
国民健康保険
後期高齢者医療保険、浄化槽
- ② 保健子ども課 子ども子育て支援
子ども医療費助成、児童手当
ひとり親医療費助成
児童扶養手当、保育所入所
健康づくり、母子保健
予防接種
- ① 福祉課 高齢者及び障がい者福祉
生活保護、老人福祉、介護保険
地域包括支援センター

あるまちスペース (エレベーターホール)



3F

- ③ 総務課 条例、選挙、防災、消防
人事、交通指導、自衛隊募集
入札、公園管理
男女共同参画
消費生活相談
- ② 企画財政課 財政、町総合計画
駅周辺開発、地域づくり
都市計画、公共交通、統計
広報、定住促進
空き家対策、結婚支援
ふるさと納税、情報政策
- ① 建設課 土木、建築、道路
河川、水道、町営住宅
町営駐車場
分譲地整備・分譲、登記

会議室2~5 災害時対策本部
あるまちスペース (エレベーターホール)

新庁舎 4つのコンセプト

1

親しみがあり 寄りやすい庁舎

これまで多くの人から寄せられた「役場は寄りにくい」という声を受け、新庁舎には「あるまちスペース」を設け「役場庁舎と民間テナントの融合」など「寄りやすい庁舎」を目指しました。



自然を感じる あるまちアリーナ

2階の南側には自然を感じながら新庁舎前を見渡せるアリーナを設けました。駐車場を使ったイベント時の利活用も可能です。



民間テナント

役場庁舎と民間テナントが融合して賑わい創出を図ります。



玉東町産の木材

各課前のカウンターに張った木材パネルは全て玉東町産の木材を使用しています。



あるまちスペース

各階に憩い・交流できるスペースを設けました。

1階は町内循環バスの待合室としても利用できます。

2階はキッズスペースを設け授乳室を併設、子育て世代も安心して来庁することができます。



賑わいを創出

駐車場はイベント利用なども想定した空間とし、新庁舎をまちづくりの拠点として機能させます。



職員と同じ視点で

旧庁舎では「職員に見下ろされている感じがする」との声が多く寄せられていた段差を解消。見通しと通路幅を確保した空間設計としました。

2

災害に強く、 町民の安全を確保する庁舎

あらゆる災害に強い安全で強固な建物となっています。
災害時に災害対策本部としての機能を発揮できる
大会議室を設けています。また、発電機と蓄電池を
備えたことで電力確保に関する不安を払拭しました。
これからの長期にわたり地域住民の安心安全を確保します。



迅速な災害対応

新庁舎3階部分に大会議室を設けたことにより、
災害対策本部としての機能がより強化され、
迅速かつ安定した体制を敷くことを可能にしました。



強靱な造り

新庁舎の地下12メートル付近の安定した
支持地盤に計79本の杭を打ち込んでおり、
耐震性の高い庁舎となっております。

3

機能的で経済性の高い庁舎

車いすでの通行を想定した通路幅の確保と段差の解消を行いバリアフリー庁舎となっています。
また、照明のLED化、高効率のエアコン設置などによる省エネと太陽光発電システムによる
創エネで経済性の高い庁舎となっております。



バリアフリーに対応

車いすを利用する人や高齢者も安心して来庁できるよう
エレベーターや適切な位置への手すり設置を行っています。



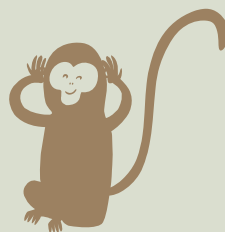
創エネ

屋上には太陽光パネルを設置。
天気の良い日は昼間に使用する電力の
100%以上を賄うことができます。



シンプルな外観

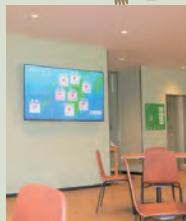
華やかな装飾を排除したシンプルなデザインの中に、
地名である「木葉」の模様のルーバーを設けるなど
末永く親しまれるための工夫を凝らしました。



4

将来の状況変化に 適合できる柔軟な庁舎

将来生じる可能性のある課の再編に適応できるように執務室の机椅子や書架を
選定しています。また今後の行政サービスのデジタル化の進展を見越し、
フリーWi-Fiやデジタルサイネージ（電子掲示板）の設置を行いました。



情報社会に対応

1階のあるまちスペースとあるまちモールに
デジタルサイネージを設置しています。
町の情報や民間テナントの情報など、
様々な情報の発信を行うことができます。



フリー Wi-Fi

新庁舎にはフリーWi-Fiが整備されており、
あるまちスペースでの作業が可能となっております。

関係者のコメント



玉東町長
前田移津行

玉東町役場庁舎建設事業は、老朽化した旧庁舎の建て替えを行ったものでありますが、建て替え前の旧庁舎は、昭和25年に建設された木葉中学校を昭和41年から役場庁舎として利用したものであり、閉庁した令和6年5月で築74年を数える県内最古の市町村行政庁舎となっていました。それゆえに、耐震性不足、面積不足、明るさ不足、バリアフリー非対応などの様々な課題を抱えておりましたが、完成した新庁舎はそれらの課題の全てを解消する効率のよい建物とすることができました。また、環境面に関しては、省エネと創エネで100%の電力量を賄うことができるとされる『ZEB』の認証を町役場としては日本で初めて取得することができました。

事業費に関しては、公募型プロポーザルによる事業者選定を行ったことで、当初計画した価格のおよそ8割で竣工させることができ、その財源に関しても複数の国の補助金、積み立てた基金、交付税措置のある有利な起債で賄うことができ、後世に財政負担を残さない形で竣工を迎えることができております。また、新庁舎は町民の皆様のご要望を受けた官民融合庁舎であり、1階を民間テナント受入スペースとしております。そして、1階から3階の各階に「あるまちスペース」と名付けた来庁者の皆様が憩い交流する場を設けました。これらの工夫により、親しまれる「寄りやすい庁舎」を作り上げることができたと思っております。今後、この優れた役場庁舎を起点に「未来に向けたまちづくり」を更に進めていくことをお誓いし、これまでにご協力いただいた全ての方々に深く感謝を申し上げます。



玉東町 企画財政課 事業担当
上村健二

庁舎建設の担当となり、自ら公募型プロポーザルの募集要項等を作成していく中で想いを文字にしたのが、「後世に胸を張れる町の財産」というフレーズでした。庁舎建設は数十年に一度しか訪れない事業であり、担当に任命されたのは光栄なことでしたが、振り返ると「完成後の後悔は絶対にしたくない」という強い思いに駆られていたことを思い出します。毎日仕事をする職員、訪れてくださる町民の方々、これから役場職員を志す後輩職員にとって使いやすく、愛着の湧く建物にしなければならないと考えていました。事業費の積算、財源の工面、事業者選定のためのルール作り、複数の補助金を受けるための事務、職員や施工業者との協議など、様々なことを思い返しますが、出来上がった後、職員からも来庁者からも好評をいただくことができたので達成感がありました。この役場庁舎が末永く大事に使われることを願っています。



代表事業者（施工者）
（株）吉永産業
代表取締役社長 吉永隆夫

玉東町役場「新庁舎」の完成、誠におめでとうございます。
玉東町庁舎建設工事のコンセプトは「後世に胸を張れる町の財産として新たに建設することを目的とする」この言葉に感銘を受け、またそれを具現化するために、熊本県トップクラスの専門業者6社がつどい、今回の提案に至りました。「あるまち〇〇」を軸に、日本初のネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング（ZEB）庁舎を目指し、親しみやすく寄りやすい・災害に強く・機能的で経済的・将来の変化に適合できる建築物を提案しました。お陰様で、高い評価をいただき「優先交渉権者」となり、設計から施工まで無事にこの日を迎える事が出来ました。これもひとえに、地域の皆様のご理解とご協力、ならびに関係各位の皆様方の努力の賜物だと、心より感謝申し上げます。これからもこの建物が玉東町の発展に貢献し、多くの町民の方々に愛される場所となることを心より願っております。



設計者
（株）ライフジャム一級建築士事務所
代表取締役 原田展幸

地域づくりの根幹を成す庁舎建築の設計は県外の大手設計事務所に発注されるケースが多いのですが、玉東町は地元企業への発注を選択されました。その意図は、設計の内容もさることながら地域経済の発展を望む姿勢にあると思います。さらに事業費の低減も評価の大半を占めていました。それは単に安価につくる意味ではなく、町の財政負担をできる限り軽くし、町の発展につなげる思いだと解釈しました。その意図を十分理解し、大手設計事務所に負けない質を提供することが私の役割でした。デザインビルドというスキームのなか、同じ志の企業で力を合わせ、町の未来につながる庁舎ができたのではないかと思います。しかし、使い始めてからが本来の評価です。特に1階の使い方は時代とともに変化するかもしれません。町の意向と共に町民の皆様の創意工夫も加わり育てて頂ける建築になればいいなと願っています。このような機会を与えて下さった玉東町の皆様並びに全ての関係者に感謝申し上げます。

建築概要

所在地	熊本県玉名郡玉東町木葉759		
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階建て		
床面積	延床面積	2,857.17㎡	
	1階面積	967.74㎡	
	2階面積	937.20㎡	
	3階面積	952.23㎡	
最高高さ	12.90m		
環境性能	『ZEB』		
整備事業方式	公募型プロポーザルによるデザインビルド方式		
整備事業者	玉東町役場庁舎建設事業共同企業体合同会社（SPC：特別目的会社）		
	代表者	建築	株式会社吉永産業
	構成員	設計工事監理	株式会社ライフジャムー級建築士事務所
		什器備品設置	金剛株式会社 熊本支店
	解体	株式会社星山商店	
	外構等整備	梅広建設株式会社	
	ZEBプランナー	有限会社傳建プランニング	

T O P I C S

「あるまち」ってなに？

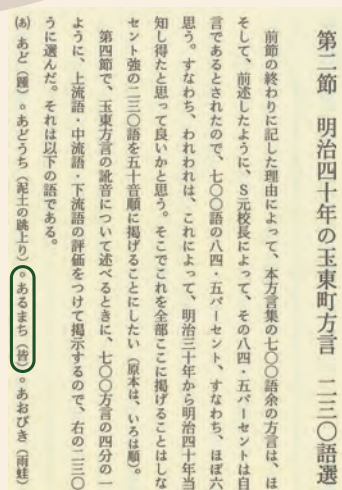
玉東町史の「明治40年の玉東町方言230語選」に記載されている言葉で「皆」という意味があります。
町民がこれまで大切に使ってきた庁舎同様に、新庁舎も町民に長く愛して頂きたく、当時の言葉で表現しました。

『ZEB』ってなに？

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）の略称でゼブと呼びます。
快適な室内環境を実現しながら建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目的に、
100%以上削減したもののみが二重鉤括弧の『ZEB』と表記されます。
新庁舎はBELS（認証制度）において100%削減を達成しています。

「公募型プロポーザルによるデザインビルド方式」ってなに？

公募型プロポーザルとは、公募により事業者を募り、提案の質やコスト、創造性や対応力などを総合的に評価して事業者を選定するものです。デザインビルドとは、設計と施工を一括発注する方式です。
この方式を採用することにより、玉東町が定めた庁舎整備の基本理念と基本方針に基づき、高品質かつコストの大幅な縮減を実現し、新庁舎を整備することができました。





新庁舎紹介 youtube ▶



制作 玉東町 企画財政課
構成 玉東町役場庁舎建設事業共同企業体合同会社